

USB時刻保持ユニット設定

ユーザーマニュアル

目次

はじめに	3
動作環境	4
初期設定を行う	5
作業1. 専用アプリケーションのインストール	6
作業2. USB時刻保持ユニットに現在の日時を書き込む	8
USB時刻保持ユニットの読み書きテストを行う	11
オープンソースライセンスを表示する	12
注意事項	13
モードごとの各機能の利用可否	13
USB時刻保持ユニットが接続されていない場合	14
USB時刻保持ユニットのバッテリーが切れた場合	15
ホーム画面表示後にUSB時刻保持ユニットを差した場合	16
「USBドライブが接続されました」画面の抑止方法	17
「プロ設定のコピー」を行う場合	18

はじめに

このユーザーマニュアルは、USB時刻保持ユニット用 Android™ アプリケーションである「USB時刻保持ユニット設定」についてのインストール方法および使用方法について記述しています。USB時刻保持ユニット本体そのものについては、USB時刻保持ユニット取扱説明書をご参照ください。

最新の情報については、下記のWebサイトをご覧ください。

<https://www.sony.net/pro-bravia/accessories/FWA-UB100>

このマニュアルのスクリーンショット画像に表示されている、設定位置や UI は Android バージョンによって異なることがあります。

Android は Google LLC の商標です。

動作環境

このアプリケーションは、下記の液晶モニターおよび液晶モニター搭載OS上で動作します。

液晶モニター 法人向けブラビア	BZ40J、BZ35J、BZ30J、BZ40Hシリーズ BZ50L、BZ40L、BZ35L、BZ30Lシリーズ
液晶モニター搭載OS	Android 9.0 以降

初期設定を行う

初期設定は、

- 作業1. 専用アプリケーションのインストール
- 作業2. USB時刻保持ユニットに現在の日時を書き込む

の2つの作業が必要となります。

以降にて各作業の手順について説明します。

作業1. 専用アプリケーションのインストール

下記の手順でUSB時刻保持ユニット設定アプリケーションのインストールを行います。

1. 液晶モニターを、プロ設定モードにする
2. PC等を用いてUSBメモリーのルートディレクトリにUSB時刻保持ユニット設定アプリ(USBClockUnitSettings.apk)を保存する
3. USBメモリーを液晶モニターのUSBポートに差し込む
4. プロ設定の「APKのインストール」を開く
5. USBClockUnitSettings.apk がリストに表示されるので選択しインストールボタンを押す
6. プロ設定の「アプリ」から「USB時刻保持ユニット設定」を開く
7. 「USB時刻保持ユニット設定」を「使用する」に変更する

補足:

プロ設定モードへの移行は、プロモードツールをお使いください。

プロ設定モードおよびプロモードツールについては、下記のWebサイトをご覧ください。

<https://pro-bravia.sony.net/guides/mode/index.html>



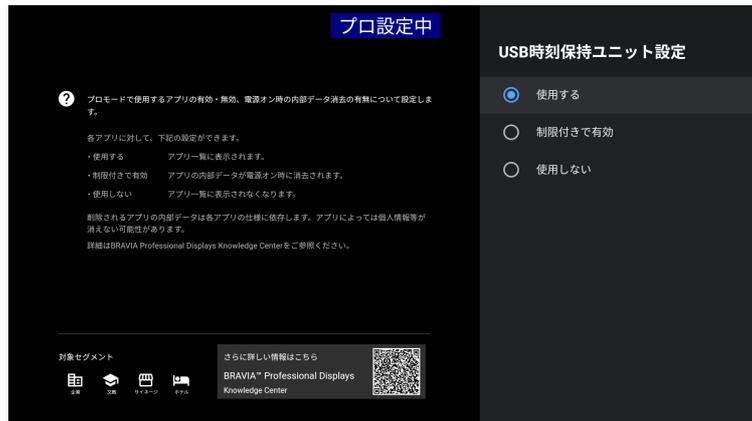
プロ設定の「APKのインストール」を開く



USBClockUnitSettings.apk を選択



プロ設定の「アプリ」から「USB時刻保持ユニット設定」を開く



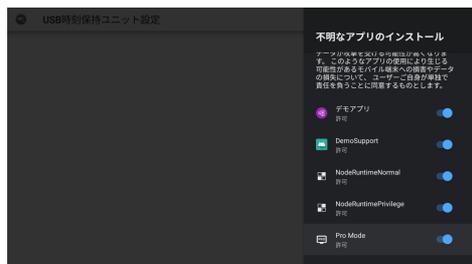
「USB時刻保持ユニット設定」を「使用する」に変更する

補足:

お使いの Android バージョンによっては、アプリをインストールする際に下記のような画面が表示される場合があります。その場合は画面上の「設定」を選び、Pro Mode の「不明なアプリのインストール」を「許可」に変更してください。



ダイアログ画面



Pro Mode の「不明なアプリのインストール」を「許可」に変更する

作業2. USB時刻保持ユニットに現在の日時を書き込む

アプリケーションのインストールが完了したら下記の手順で日時の書き込みを行います。

1. USB時刻保持ユニットを液晶モニターのUSBポートに差し込む
2. 液晶モニターの電源を入れる
3. 液晶モニターの「日付と時刻の自動設定」を「オフ」に変更する
4. 液晶モニターの日時を設定する
5. USB時刻保持ユニットに液晶モニターの日時を書き込む

補足:

アプリケーションを用いてUSB時刻保持ユニットの日時を直接入力することはできません。
液晶モニターの日時をUSB時刻保持ユニットへ書き込むことで設定を行います。
そのためまず液晶モニターの日時を設定しておく必要があります。

液晶モニターの「日付と時刻の自動設定」を「オフ」に変更する

Android ホーム画面から、

- 設定 > システム > 日付と時刻

を開き、「日付と時刻の自動設定」は「オフ」に変更します。

補足:

「日付と時刻の自動設定」は、放送受信状態あるいはNTPサーバーに接続されている場合にそれらから日時が反映されます。それらを無効にするため「オフ」にします。「オフ」にしても「USB時刻保持ユニット」の自動反映には影響ありません。

液晶モニターの日時を設定する

次に「日付の設定」と「時刻の設定」で正しい現在日時を設定します。



設定 > システム > 日付と時刻



「日付と時刻」画面

USB時刻保持ユニットに液晶モニターの日時を書き込む

Android ホーム画面の「アプリ」から、「USB時刻保持ユニット設定」を開きます。



ホーム画面の「アプリ」

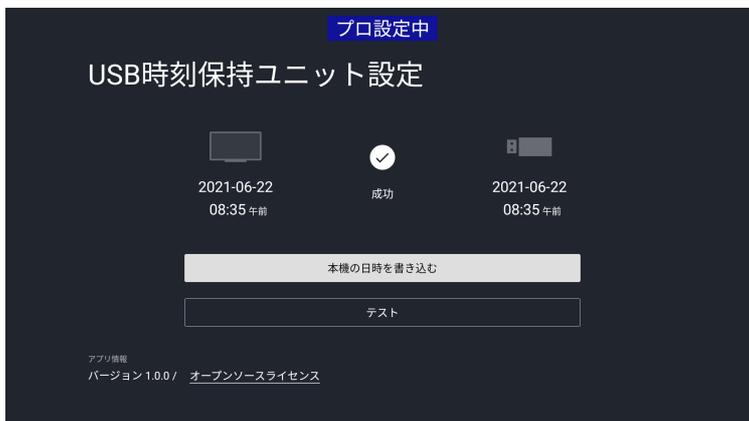
USB時刻保持ユニット設定のメイン画面が表示されます。

左側に液晶モニターの日時、右側にUSB時刻保持ユニットの日時が表示されます。



「USB時刻保持ユニット設定」のメイン画面

「本機の日時を書き込む」ボタンを押すと、USB時刻保持ユニットに液晶モニターの日時を書き込みます。画面の中央に成功と表示され、USB時刻保持ユニットの日時が液晶モニターと同じになれば初期設定の作業は終わりです。以降、液晶モニターの電源オンして起動が完了するタイミングでUSB時刻保持ユニットの日時が液晶モニターへ自動的に反映されます。



「本機の日時を書き込む」の成功画面

USB時刻保持ユニットの読み書きテストを行う

USB時刻保持ユニットの動作確認のための機能です。

USB時刻保持ユニットの時刻情報の読み書き機能に異常がないかを確認します。

「テスト」ボタンを押すと、下記の処理を自動的に行います。

1. USB時刻保持ユニットにテスト用データを書き込む
2. USB時刻保持ユニットのテスト用データを読み込み、正しいデータであればテスト成功
3. 成功した場合は液晶モニターの日時をUSB時刻保持ユニットに書き込む

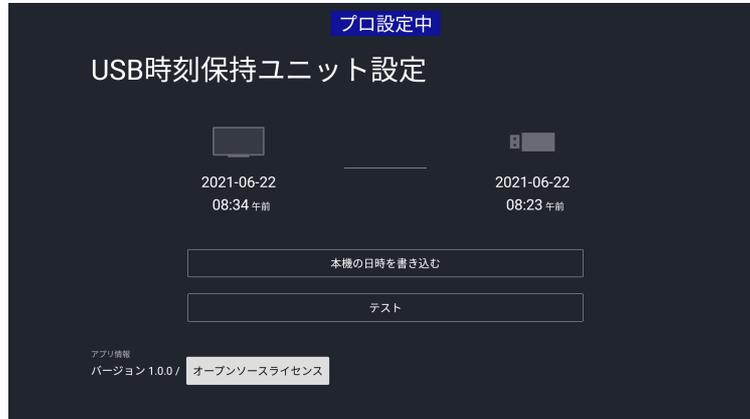


「テスト」ボタン

オープンソースライセンスを表示する

メイン画面から「オープンソースライセンス」にフォーカスを合わせて開くと、USB時刻保持ユニット設定が使用しているオープンソースソフトウェアの一覧を表示します。

各ソフトウェアを開くとそのソフトウェアのライセンスが表示されます



オープンソースライセンスにフォーカスを合わせる



使用しているオープンソースソフトウェア一覧

注意事項

モードごとの各機能の利用可否

モードごとの各機能の利用可否は下記の表の通りとなります。

項目	通常モード	プロ設定モード	プロモード	説明
液晶モニターの日時の設定	可	可	不可	設定 > システム > 日付と時刻
USB時刻保持ユニットの日時設定	可	可	可※1	「USB時刻保持ユニット設定」アプリの 「本機の日時を書き込む」ボタン
USB時刻保持ユニットの日時自動反映	可	可	可※1	「USB時刻保持ユニット設定」アプリにより自動的に行われる

※1 プロ設定の「アプリ」で、「USB時刻保持ユニット設定」を「使用する」に変更しておく必要があります

USB時刻保持ユニットが接続されていない場合

USB時刻保持ユニットが液晶モニターに差さっていない状態でアプリケーションを開いた場合は下記のような画面が表示されます。
USB時刻保持ユニットを差していてもこの画面が表示される場合は、USB時刻保持ユニットを改めて差し直してください。



USB時刻保持ユニットが接続されていない

USB時刻保持ユニットのバッテリーが切れた場合

電源オフの期間が7日を超える場合など、USB時刻保持ユニットに内蔵されているバッテリーが切れるとUSB時刻保持ユニットの日時がリセットされます。その場合は「初期設定を行う」の手順にある、

1. USB時刻保持ユニットを液晶モニターのUSBポートに差し込む
2. 液晶モニターの電源を入れる
3. 液晶モニターの日時を設定する
4. USB時刻保持ユニットに液晶モニターの日時を書き込む

を改めて行ってください。

ホーム画面表示後にUSB時刻保持ユニットを差した場合

通常、初期設定を終えて、USB時刻保持ユニットを液晶モニターに差した状態で起動すると、ホーム画面表示後に液晶モニターに日時が反映されます。但し、ホーム画面が表示されてから4分間はリトライ期間があり、その期間中にUSB時刻保持ユニットを差した場合も液晶モニターに日時が反映されます。

「USBドライブが接続されました」画面の抑止方法

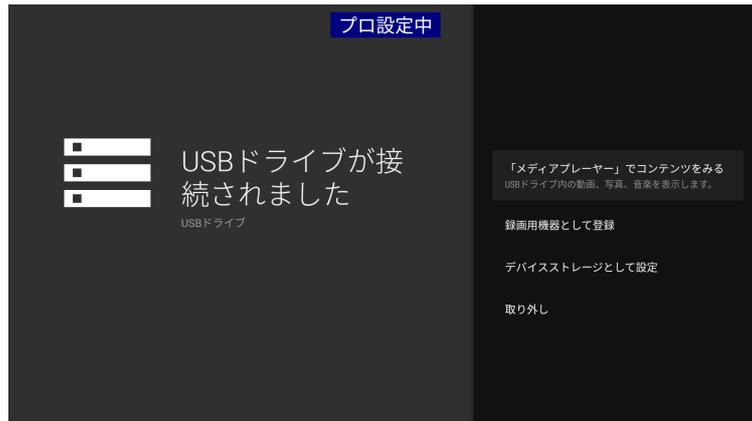
USB時刻保持ユニットを液晶モニターのUSBポートに差した際に、下記のような画面が表示されます。

これはUSB時刻保持ユニットが、USBメモリーとしての機能も持つためです。

戻るボタンを押すなどによりキャンセルしてください。

補足:

USB時刻保持ユニットを差した状態で液晶モニターの電源を入れた場合は、この画面は表示されません



「USBドライブが接続されました」画面

もしこの画面表示を抑止したい場合は、あらかじめUSB時刻保持ユニットのUSBメモリー領域のルートディレクトリに.ignore_dialog ファイルを置いておくと表示が抑止されます。 .ignore_dialogファイルの中身は空(0バイト)で構いません。

補足:

.ignore_dialog ファイル名の先頭は、ピリオド '.' になります。

下記のWebサイトから.ignore_dialog ファイルがダウンロードできるようになっています。

<https://pro-bravia.sony.net/faq/140/>

「プロ設定のコピー」を行う場合

USB時刻保持ユニットが液晶モニターに差さった状態で、プロ設定にある「プロ設定のコピー」を行うと設定ファイルはUSB時刻保持ユニットに書き出されるのでご注意ください。

別のUSBメモリーを差して「プロ設定のコピー」を行う場合も、すでに差さっているUSB時刻保持ユニットに設定ファイルは書き出されます。別のUSBメモリーに設定ファイルを書き出したい場合は、一旦USB時刻保持ユニットを外してから行ってください。